

研究授業 4年 サイエンスコミュニケーション科

「飛べ！水ロケット！」

令和3年1月20日(水)
 4年1組 寿山主任教諭 4校時6/10
 4年2組 坂本教諭 5校時8/10



水ロケットが飛ぶ距離には、発射角度や先端の重さは関係しているだろうか 6/10 時間

飛ぶ距離には空気と水が関係していたなあ



前に200gで実験した時に10m以下だったから...



先端の重さにも関係があるのかな

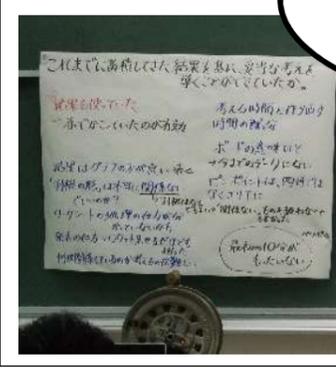
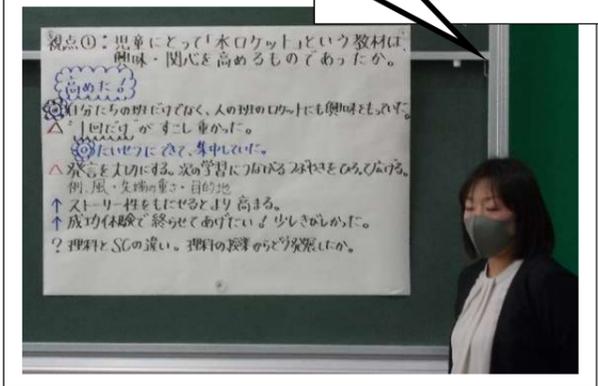
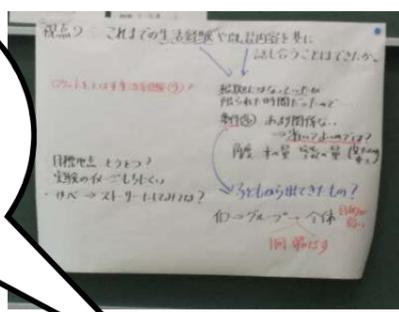


ソフトボール投げで斜めに飛ばしたから45度しよう



重すぎても飛ばないし軽すぎても飛ばないから150gにすると考えました。

理科の発展としての内容だったが、SC科と理科の違いは一体何なのか。



水ロケットを目標地点に着陸させよう 8/10 時間

先端の重さは50g、空気の量は10回



発射台の近くに壁があるから発射角度を考え直そう



水の量は200ml、発射角度は45度



機体が安定して着陸するためには発射角度を60度しよう



向きは少し違ったけれど、距離は大体予想通りのところに着陸しました。

自然事象との対話

児童相互の対話

学級全体での対話

たくさんの条件があったが、関係のない条件は省いてもよかったのではないかと

研究協議会
 講師：文部科学省初等中等教育局
 教育課程課 教科調査官
 鳴川 哲也 先生

これまでに蓄積してきた結果を基に、条件をたくさん考えて取り組んでいたのが飛ばせたかった

